

2026 年 7 月 23 日

新潟県立大学

NTT 東日本株式会社 新潟支店



新潟県立大学と NTT 東日本新潟支店 包括連携協定に基づく第二回連携講座を実施

～サイバーセキュリティをテーマに地域の DX 人材育成を推進～

新潟県立大学(学長 若杉隆平)と NTT 東日本株式会社新潟支店(支店長 満留 大介以下「NTT 東日本新潟支店」)は、2026 年 7 月 16 日に、「データサイエンス分野における包括連携協定」(2025 年 6 月締結)に基づく第二回連携講座を実施しました。今回の講座では、近年社会的な重要性が高まるサイバーセキュリティをテーマに、サイバー攻撃の実態や対策、サプライチェーン全体でのセキュリティ確保の重要性について学びました。

講座では、NTT 東日本でサイバーセキュリティ分野を担当する麻生担当部長が講師を務め、「サイバーセキュリティの基礎」「日本を取り巻くサイバー脅威」「サプライチェーンセキュリティ」「ゼロトラスト」「関連法制度」などをテーマに講義を展開。実際に発生したランサムウェア被害やサプライチェーン攻撃の事例も交えながら、サイバーセキュリティが企業活動や社会インフラを支える重要な基盤であることを技術・経営・法制度それぞれの観点から解説しました。

続く演習では、取引先のシステム会社がランサムウェア被害を受けたことで、自社の受注・出荷業務にも影響が及ぶケースを題材にグループディスカッションを実施。学生たちは企業の広報担当者という立場で課題に向き合い、被害拡大の要因や想定される影響、求められる対策について議論を重ねることで、サプライチェーン全体でリスクを管理することの理解を深めました。

当日は国際経済学部データサイエンス経済コースの 2 年生約 30 名が参加し、ICT やデータ利活用の進展とともに高まるセキュリティリスクへの理解を深めるとともに、企業経営や社会課題と結び付けて捉える視点を養いました。知識の習得にとどまらず、自ら考え、議論し、解決策を模索する実践的な学びの場となりました。

新潟県立大学と NTT 東日本新潟支店は、今後も本協定に基づく講座を継続的に実施し、新潟県立大学が有するデータサイエンス教育の知見と NTT 東日本が有する ICT 分野の知見を融合させながら、新潟県におけるデータサイエンス人材の育成を推進してまいります。そして、その学びを通じて育まれた人材が、地域課題の解決や新たな価値創造の担い手として活躍することで、新潟県の持続的な発展に寄与することをめざしてまいります。



講義



グループディスカッション

【連携講座の概要】

1. 実施日時

2026 年 7 月 16 日(木) 14:45～16:15

2. 場所

新潟県立大学(新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地)

3. 受講対象者

新潟県立大学 国際経済学部 データサイエンス経済コース 2 年生 約 30 名

4. 内容

講義(60 分)

- ・ サイバーセキュリティの基礎(CIA の原則)
- ・ 日本を取り巻くサイバー脅威
- ・ ランサムウェア・サプライチェーン攻撃の事例
- ・ セキュリティ対策の基本
- ・ サプライチェーンセキュリティ評価制度(SCS 評価制度)
- ・ ゼロトラストセキュリティ
- ・ サイバー攻撃に関連する法律

演習(30 分)

- ・ ランサムウェア被害を題材としたケーススタディ
- ・ グループディスカッション・発表

5. 講師

NTT 東日本株式会社 マーケティング統括本部 ビジネス開発本部
サイバーセキュリティビジネス部 セキュリティビジネス戦略担当部長
麻生 享路

参考：新潟県立大学と NTT 東日本新潟支店 データサイエンス分野における包括連携協定

<https://www.ntt-east.co.jp/niigata/news/pdf/20250605.pdf>

本協定は、ビッグデータや AI の活用を通じて産業・行政・教育におけるデータ利活用を推進し、地域課題の解決と新たな価値創造の担い手となる人材の育成を目的としています。

【本件に関するお問合せ先】

新潟県立大学 総務財務部 企画広報課

kikaku@unii.ac.jp

NTT東日本新潟支店 企画総務部 企画担当

niigata-kouhou-ml@east.ntt.co.jp

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ